

空き店舗を活用し、誰もが気軽に利用できる「交流ひろば」を設置

高山市商店街振興組合連合会

| | | | |
|----------------|--------------------------------------|-----------------|--|
| 機関名 | 高山市商店街振興組合連合会 | | |
| 所在地 | 岐阜県高山市天満町5-1 | | |
| 電話番号 | 0577-32-2550 | | |
| 地域概要 | (1)管内人口 6万7千人 | (2)管内商店街数 10商店街 | |
| 事業の対象となる商店街の概要 | (1)商店街数 10商店街 | (2)会員数 358商店 | |
| | (3)空き店舗率 9.2% | (4)大型店空き店舗数 0店 | |
| 商店街の種類 | 1.超広域型商店街 2.広域型商店街 3.地域型商店街 4.近隣型商店街 | | |

【事業名と実施年度】

平成14年度 コミュニティ施設活用商店街活性化事業 子育て交流機能、まちの情報発信機能等の育成機能等をもつ施設の設置、運営
 総事業費 7,500千円

【事業実施内容】

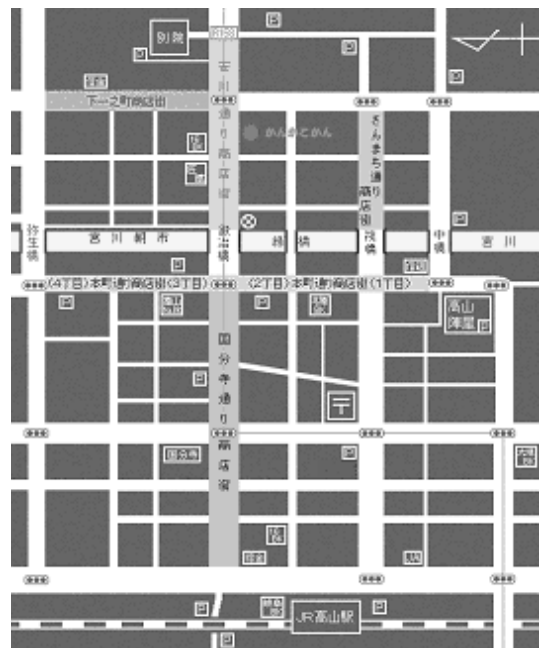
1. 背景

高山市の商店街は市域の中心部に位置し、JR高山駅から古い町並みを結ぶように10の商店街振興組合が連なっている。約350店舗が集積し、年間300万人を超える飛騨高山への観光客の交流空間としての役割を果たしているだけでなく、長い間、市民の日常生活を支えてきた。

しかし、郊外の大規模店進出による中心市街地の空洞化と商業者の高齢化が進んだことで、商店街は、現在、非常に厳しい状況に追い込まれている。商店数は平成11年と平成14年を比較すると、1割近く減少。空き店舗率も平成8年度の7.7%に対して、平成14年度調査では9.2%に増加している。

このまま空き店舗が増え続けると、飛騨高山のイメージダウンにつながるなどの危機感から、「増え続ける空き店舗をいかにして効果的に活用するか」、「少子高齢化社会への適切な対応」、「福祉観光都市として、全国に誇れるバリアフリーのまちづくりの実現」等を鍵として、現在、様々な取り組みが行われている。

本事業はこのような取り組みの一環として、従来は公共施設において実施されることの多か



高山市中心市街地の地図



った子育て支援サービスを、様々な人々が交流しやすい商店街という場所で行い、子供にやさしいまちづくりを推進するとともに、まちなかの賑わいを創出することを目的に実施されたものである。

2. 事業内容

高山市、NPO団体などとの連携体制のもと、安川商店街の空き店舗を活用し、子育て支援サービス等を柱とした「まちひとぷら座 かんかこかん」を設置した。施設名は高山祭の鬺鶏楽の鉦の音色から、名づけられたものである。

(1) 事業目的

1) 市民の交流場所

利用者（子供、高齢者、障害者、健常者、地域住民、観光客）に応じたコミュニティ形成の場として、さまざまな人が集まる「まちのサロンのような場の実現」を目指しており、結果としてまちなかのにぎわい創出につなげようとするものである。

2) まちの情報発信の場

子育て・まちづくり・ビジネスなどを一連の活動として結びつけるよう、情報ネットワークを活用する。また、TMO機能を持った組織形態も視野に入れながらまちの活性化に取り組む拠点のひとつとなることを目指すものである。

(2) 事業内容

1) 施設概要

- 1階 「子供ひろば」「情報ひろば」があり、無料で開放。
- 2階 和室（8+10畳）は市民活動や地域団体の活動場所として、少額にて開放。



「かんかこかん」の外観

2) 機能

①子育て交流機能

- ・子育て相談や親子交流の場
- ・子育て及び子育て支援に関する講習
- ・子育てサークルの育成など

②まちの情報発信

- ・子育て情報、まちづくり情報などの発信機能
- ・観光・行政情報の発信機能
- ・買物客・観光客の休憩所、団らんの場

③運営に関わるNPO団体等の育成機能

- ・NPO、市民ボランティアの育成・交流の場など
- ・買い物や観光時における児童の一時預かりといった各種コミュニティビジネスなどの模索や試みの場

3) 運営体制

①開館時間：午前10時～午後5時
(2階和室は登録により午後5時以降も可)

②休館日：年末年始を除き無休

③利用料金

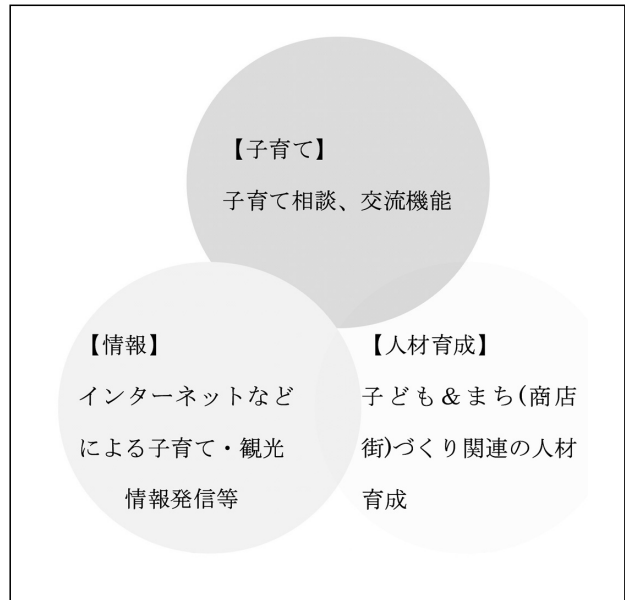
1階「こどもひろば」「情報ひろば」
無料

2階和室（8+10畳）1人100円午後5時以降使用の場合は登録が必要

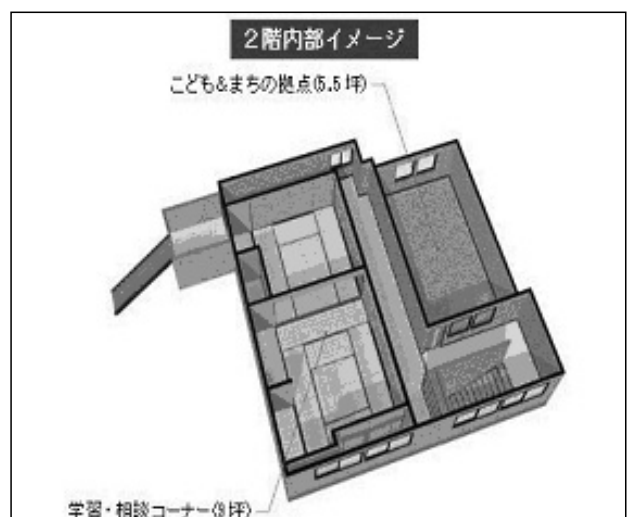
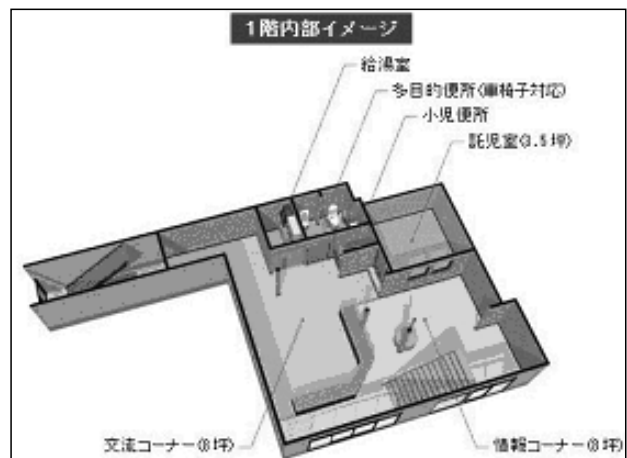
④登録方法：

- ・登録申込書 登録期間（1年間）
登録団体名、住所、代表者、連絡先
主な利用内容、活動ジャンル
- ・年間登録料3,000円

⑤備品：机、座布団、ホワイトボード、ポット、湯のみ等



「かんかこかん」が持つ3つの機能



4) 有料一時保育について

「有料一時保育」については、下記のとおりである。少人数ではあるが利用者数は増加傾向にある。特に観光客による利用の場合、子どもに「もっといたい」と言われることが多いが、まだ利用者が少ないのは、広報の不徹底によるものが大きい。

有料一時保育

こんなときに：買物、歯医者、美容院、急な用事、観光、疲れた時になど

利用条件：個人利用として

場所：原則として「かんかこかん」内にて預かる

時間：年末年始を除く、「かんかこかん」の開館している時間内（10～17時）

対象：生後6ヶ月以降の病児でない方

手順：直接来館による

料金：以下の表に示す

| | 入会金 | 登録費 (6ヶ月) | 利用料 サポーター1人 1時間当たり |
|-------------------|------|--------------|--------------------------|
| 会員（登録制） 1家族につき | 500円 | 1,000円 | 1,000円 |
| 非会員（当日のみ） | なし | なし | 1,200円 |



子育て相談等、地域の子育て支援の拠点に



オープニングイベントの様子

【効 果】

有料一時保育、夏休み子供応援スクールの開催、ミーティングや集会のできる場所の提供（市民劇団の練習スペース、商店街会議等）、NPO団体・市民活動団体のネットワークづくり、商店街における納涼夜市の企画、運営、ボランティア活動拠点などとして、有効に利用されている。

一般市民、観光客ともに来館は多く、認知度が高まるにつれて来館者は増加している。利用者からの評価は高い。

【課題・反省点】

商店街活性化のためには、「かんかこかん」を活かす課題として商店街との連携によるイベントなどの検討が今後必要と思われる。「かんかこかん」の運営上の課題等をあげると以下のとおりである。

(1) 駐車場の不足

近くには駐車場がなく、また少し離れた場所にあっても有料である。そのため周辺の商店の駐車場に駐車することがある。高山市は観光地であるため、駐車場整備には費用が多くかかり、改善は困難である。

(2) パソコンのトラブルに対応できない

パソコンのトラブルがあっても、パソコンに詳しい人間が常駐していないために早急なトラブル対応ができていない。その場合は、パソコンに詳しい人を呼ぶことになるため、対応は遅れてしまう。

(3) 人的体制のばらつき

子ども広場のサポートボランティアは「ボランティア」ということもあり、どうしても不定期になるため、ばらつきがでてしまう。

(4) 外国人観光客への対応

高山市は外国から多くの観光客が来ている。英語だけでなく、その他の言語にも対応しなくてはならないため、対応が難しい。

(5) 平成15年度の来館状況

平成15年5月からの観光客、一般市民の来館数は多く、以下の表のとおりである。観光客の来館は授乳・休憩・観光情報・インターネット検索を目的としている。一方、一般市民の来館はちょっとした井戸端会議・休憩・子どもの遊び場に利用されている。

4月から「子どもひろば」、「情報ひろば」ともに順調に利用者数を増やしている。これは周辺地域への認知度が高まりつつあることを示している。また、夏場は観光シーズンのため観光客が多く訪れる。このため、年間を通しての利用人数調査が必要である。

